

一橋大学ダイバーシティ・エクィティ&インクルージョン推進宣言

一橋大学は、創立以来、社会の構築に広く貢献するリーダーの育成をミッションとし、社会科学の総合大学として、日本及び世界における政治経済社会の発展とその創造的推進者の育成に貢献してきました。また、豊かな教養と市民的公共性を備えた人々を世界に送り出すことを目指し、ひとりひとりの学生を丁寧にて育て、自由で独創的な研究を生み出してきました。

グローバル化が進む現代社会において、政治経済社会の発展を構想し、革新し、指導していく人材を育成する場では、すべての構成員が互いの違いを尊重し合い、それぞれの能力を最大限に発揮できるように教育研究環境を整えることがきわめて重要です。

包容力に富む卓越した学術コミュニティとして自らを鍛え直し、地球社会の課題解決に取り組む個性と魅力あふれる大学を目指して、一橋大学は、ここに、多様性（Diversity）、公正性（Equity）、包摂性（Inclusion）を積極的に推進していくことを、学内外に向けて宣言します。

すべての学生・教職員が、人種、民族、国籍、性別、性自認、性的指向、障がい・疾病の有無、年齢、言語、宗教、信条、出身、地位、家族関係など、さまざまな属性において多様性を持つことを認識し、その尊厳が守られ、公正に包摂されることによって、本学の一員としての帰属感や矜持を持ちうる組織となるよう、取組をすすめます。

（基本方針）

1 多様性（Diversity）の尊重

一橋大学は、すべての構成員の多様性を尊重します。多様な構成員が集うひらかれた学術コミュニティとして、就学・学生生活・研究・教育・採用・昇進その他の学内のあらゆる場面において、すべての構成員の人権が守られ、対等の人格としてあつかわれることを保障するため、常に学内体制を見直し、必要となる諸施策を推進します。

2 公正性（Equity）の確保

一橋大学は、差別的な社会構造の是正に取り組み、すべての構成員がそれぞれの能力を最大限に発揮できる公正性が保障された学術コミュニティづくりにつとめます。人種、民族、国籍、性別、性自認、性的指向、障がい・疾病の有無、年齢、言語、宗教、信条、出身、地位、家族関係などの事由により、就学・学生生活・研究・教育・採用・昇進その他の学内のあらゆる場面においてすべての構成員が差別されることのないよう、制度及び学内体制を整備します。

3 包摂性（Inclusion）の実現

一橋大学は、さまざまな属性や背景をもつ学生・教職員を包摂し、お互いがその違いを尊重し合い、活躍できる学術コミュニティの実現を目指します。一橋大学に集うすべての人々が、学内のあらゆる場面において、心身共に快適に活動することができるよう、教育・研究の機会を保障し、啓発を推進します。

2023年3月29日

一橋大学



国立大学法人一橋大学 ダイバーシティ推進室
HITOTSUBASHI Univ. Diversity Promotion Office

国立東キャンパス 東プラザ1階
開室時間：9:30～16:30 ※土日祝・学長指定休みを除く

〒186-8601 東京都国立市中2-1
042-580-8730（内線：8730）
gen-fr.g@ad.hit-u.ac.jp
<http://www.sankaku.ad.hit-u.ac.jp/>



令和7年4月発行

学生の皆様へ

一橋大学 ダイバーシティ推進室 ご案内



一橋大学 ダイバーシティ推進室は
あなたの学修・教育研究・就業とライフイベント
の両立を応援しています

◆ダイバーシティ推進室支援事業のご紹介

Ⅰ．育児支援事業

Ⅱ．イベント

Ⅲ．ダイバーシティ推進室のご利用について

一橋大学ダイバーシティ推進室は、学修・教育研究・就業とライフイベントを両立している皆様を応援するため、以下の取組みを実施しております。お気軽にご利用ください。

I. 育児支援事業

1. 令和7年度 学生対象 一時保育等利用料補助

令和6年度より利用対象者を拡大しました！

●利用対象者

・出産・子育てと学修・研究の両立のために支援を必要とする、以下の学生を対象とする。

- ①本学の学部、大学院(修士課程・博士後期課程・専門職学位課程)に在籍する正規学生及び科目等履修生で、配偶者が就労・就学中・または病気入院等であるもの
- ②本学の学部、大学院(修士課程・博士後期課程・専門職学位課程)を休学中のもの(半年以内に復学を予定しているもの)で、配偶者が就労・就学中、または病気入院等であるもの
- ③配偶者が就業・就学中または病気入院等ではないもの等、上記に当てはまらない方からの利用申込については、ダイバーシティ推進室で判断して決定するものとする。

●対象となるサービス

- ・対象となる子どもの一時保育
- ・通常保育場所の利用時間外(夜間・休日、病児・病後児保育)でのベビーシッターによる家庭内保育等

●支援金額と利用限度

- ・1日の利用につき、10,000円を補助。
- ・子ども1人あたり、年度につき原則55,000円を上限とする。(利用対象者③の場合は30,000円を上限)

2. ベビーシッター利用支援事業

本学は、株式会社マザーネットと株式会社小学館アカデミーHASと法人契約を締結しており、小学校6年生までのお子さまを養育する本学教職員・学生の方がベビーシッター利用料金の割引を受けることができます。概要は以下の通りです。

	マザーネット	株式会社小学館アカデミーHAS
サービス概要	自宅での子どもの保育・送迎サービス等	自宅での子どもの保育・送迎サービス等
	病児保育あり(発熱・感染症等も対応可)	病後児保育あり(病児対応不可)
料金	1時間につき 税込3,388円(税抜3,080円)～、年会費不要	1時間につき 税込3,190円～、年会費 税込11,000円
		または1時間につき 税込3,762円～、年会費不要

上記 I. 育児支援事業「1. 令和7年度 学生対象 一時保育等利用料補助」、「2. ベビーシッター利用支援事業」の詳細ご案内は、当室ウェブサイトをご覧ください。

なお利用には、事前登録・申し込みが必要です。登録申込書はダイバーシティ推進室ウェブサイトに掲載しておりますので、利用希望者は、申込書をダウンロードし、必要事項を記載の上、ダイバーシティ推進室にご提出ください。

II. イベント

グループ・メンタリング(ランチ会)、ダイバーシティ・トーク

ランチタイム(12:30～13:30頃、途中の入退室も可能)に、本学の学生・教職員が気軽にダイバーシティについて語り合えるイベントを開催しています。グループ・メンタリング(ランチ会)では、メンターの先生を囲んで、少人数でゆったりと対話する場を設けています。ダイバーシティ・トークでは、ダイバーシティに関する特定のテーマを取り上げ、自由に意見を交換しながらディスカッションを行います。開催日程は、CELS、ダイバーシティ推進室ウェブサイト、学内掲示のポスターなどでご案内しています。ぜひお気軽にご参加ください。



参加者の声

育児との両立中のメンターの先生に気軽に相談できる場で、今後の研究者人生にとって大変参考になる貴重な機会でした。

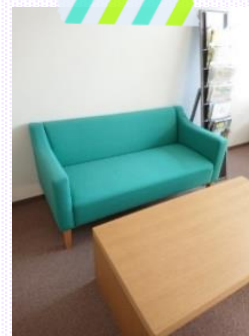
セーフティでリラックスできる空間で、普段関わりのない学科の方々ともお話ができ、多様な視点に触れたことが印象に残っています。

III. ダイバーシティ推進室のご利用について

1. ベビー休憩室・オールジェンダー更衣室

ダイバーシティ推進室では、おむつ交換台、冷凍庫、電子レンジ、ポット((70℃設定可)、ソファスペース、お子様イス、プレイマットなどをご用意育児中の皆様の支援を行っています。研究と育児の両立にぜひお役立て下さい。

また、学生からの要望を受け、ダイバーシティ推進室内のベビー休憩室を「オールジェンダー更衣室」としても試験的にご利用いただけるようにしております。どなたでも安心してご利用いただけます。



※イベント開催等の時間帯は利用できない場合もあります。

2. 参考図書の貸出し

ダイバーシティ推進室では、DEI(多様性・公平性・包括性)に関する図書を多数取り揃えております。開室時間内に貸出を行っておりますので、皆様ご利用ください。

所蔵ジャンル

ダイバーシティ
ジェンダー
セクシュアリティ
LGBTQ+
女性のキャリア
ワークライフバランス
結婚・妊娠・出産
育児
男性の育児
家事
健康



※おひとりにつき1回3冊まで。貸出期間は1か月です。

ダイバーシティ推進室 開室時間 平日 9:30～16:30 (土曜日・休日・祭日を除く)

※おむつ交換台は、以下の場所にも設置しています。

- ◆国立東キャンパス ・マーキュリータワー高層棟1階多目的トイレ内 ・東本館1階多目的トイレ内
- ◆国立西キャンパス ・イノベーション研究センター多目的トイレ内
・保健センター多目的トイレ内
・法人本部棟1階多目的トイレ内(ベビーチェアのみ)
- ◆千代田キャンパス ・1階多目的トイレ内 ・5階多目的トイレ内(ベビーチェアのみ)



アクセシビリティマップ
(国立キャンパス)